



来てけれ! 大仙市

大仙市農林部
農林整備課 農林整備班
新田 知幸

中仙中央地区園芸メガ団地



中仙中央地区のは場整備を契機に整備された園芸メガ団地は104棟のハウスを活用し主にトマトの栽培を実施しています。近隣の園芸拠点センターや道の駅なかせんに整備予定のジュース加工施設等と連携した取組を行います。

大台スキー場から望む仙北平野



仙北平野は湧水にも恵まれた秋田県有数の穀倉地帯です。大台スキー場は冬季間のレジャースポットのみならず、四季折々の眺望を楽しむことができます。

花火ダリア



紅遊星



雪紫



顕芯



八重芯



紫銀乱



和火

ダリア焼酎



市で推進する「花火産業構想」の一環で、花火を連想させるダリアの新品種を開発しています。また、市内の酒造と連携し、ダリアの球根を原料としたダリア焼酎の製造にも取り組んでおります。

四季を彩るイベントがたくさんあります

刈和野大綱引き



日本最大級の大綱は厳寒の2月10日の夜、古式にのっとり、町を二分して数千人により引き合われます。左右に振られる提灯と「ジョウヤサノー」の掛け声がある種のリズムを奏でます。国の重要無形文化財にも指定されており、室町時代から続く歴史ある行事です。

大曲の花火



「毎月花火が打ち上がる街」として花火に関する多くのイベントがありますが、今年は4月24日～29日まで「第16回国際花火シンポジウム」が開催され、国際色豊かな花火と日本の粋を集めた花火が競演します。毎年70万人もの集客を誇る「全国花火競技大会」は8月26日に開催されます。

ジャンボウサギフェスティバル



稔り豊かな秋は市内各地で地域の特徴を活かしたイベントで賑わいます。中仙地域では秋田県特有の大型の白うさぎの品評会である「ジャンボウサギフェスティバル」が開催されます。また、大曲地域では「秋の稔りフェア」が市街地再開発事業により誕生した大曲ヒカリオをメイン会場にステージイベントや軽トラ市などで賑わいます。



仁井田堰の概況と沿革

本地区は、秋田市の南部に位置し、雄物川下流部とその支流、一級河川岩見川の右岸に扇状に開けた秋田市街地に隣接した水田地帯にあります。兼業農家が94.5%を占め、戸当たり平均経営面積が70aです。稲作を中心に、恵まれた土壌条件と都市近郊の立地条件から水田の畑利用による野菜、根菜等を組み合わせた複合経営を行っており、JA直売所へも多くの農家が登録し、仁井田の野菜として好評を得ています。

本地区はその昔広漠たる原野でしたが、元和2年（1616年）、佐竹藩家老梅津憲忠が戸嶋から岩見川の水を引き、仁井田原野の開拓を始めました。これが、仁井田堰のはじまりです。それ以降、長年にわたり多くの人の手によって整備されてきましたが、明治27年8月に仁井田堰普通水利組合が設立され、更に昭和27年8月2日には組織変更により現在の仁井田堰土地改良区が設立し、仁井田頭首工、下堰揚水機場をはじめとして、受益面積約680ha、用水路24km、排水路5kmの土地改良施設について維持管理を行っています。

近年は、土地改良施設の維持管理を重視した管理体制へ移行しており、新農業水利システム保全対策事業による管理施設の遠隔操作システムを導入し管理を省力化していることに加え、多面的機能支払い交付金事業の活用、平成15年から10年間にわたる「水土里のみちウォーキング in 仁井田」の開催など、地域住民と一体となった適期・的確な施設管理に取り組んできました。また、明治時代からそのままの10a区画の農地のため大型機械の導入ができませんでしたが、ようやく平成26年からほ場整備事業の推進協議会が各地域で設立され、管内全域では場整備事業の実施に向けた取り組みを進めています。

「水土里のみちウォーキング in 仁井田」で配布されたパンフレット

仁井田堰 (にいだせき)

みどり

水土里のみちウォーキング MAP

至秋田市内
最初の信号を左折だよ

ロングコース 14km

ショートコース 6km

至秋田駅
四ツ小屋駅

至御野場
至御所野

至雄和町
本田橋

至秋田市
至御野場

至秋田駅
四ツ小屋駅

至御野場
至御所野

至雄和町
本田橋

至秋田市
至御野場

スタート・ゴール地点

信号をよく見て渡ってネ!

①シルバーエリア

②白山神社

③せせらぎ水路

④ヤブレ沼

⑤サイクリングロード

⑥親水公園

⑦仁井田堰頭首工

⑧仁井田堰水路

⑨保量神社

⑩分水工

⑪ケヤキの大木

⑫白山神社

⑬分水工

⑭保量神社

⑮仁井田堰水路

⑯親水公園

⑰仁井田堰頭首工

③せせらぎ水路
簡易トイレがあります

④ヤブレ沼
出口朝日たちでいっぱい

⑤白山神社

⑥分水工
ここで水路が二つに分かれます

⑦仁井田堰水路
給水ポイント! トイレもあるからちょっと休憩

⑧仁井田堰水路
六の字溝専用水を飲みしています

⑨保量神社
踏切横断注意!

⑩親水公園
ここで水路が二つに分かれます

⑪仁井田堰水路
歩道橋にほかにあそぶかも

《ウォーカーの心得》

- ① 競技大会ではありません。他人のペースを乱さないよう自然とのふれあいを満喫しながら楽しく歩いて下さい。
- ② 通路は参加者だけのものではありません。道路の横断は信号機に従うように交通ルールを守り、縦一列で他の車両等の支障にならないよう歩いて下さい。
- ③ ゴミは各自持ち帰るようにして下さい。途中のポイ捨てなどは絶対にして下さい。路上のゴミを拾いながら歩くのがウォーカーのマナーです。
- ④ 歩行中の喫煙はご遠慮して下さい。
- ⑤ その他係員の指示に従って下さい。

比内町土地改良区

羽沢 淳子



3月は卒業式など旅立ちや別れそして出会いの季節ですね。

私は比内町土地改良区で働いてから早18年が過ぎようとしています。18年前はといいますと、小学生2人を学校へ送り出したあと、3歳と1歳の2人の子供を抱きかかえて毎日保育所へ送ってから仕事へ向かうというかなり忙しい日々でした。

月日の流れは早いもので、一番下の子も去年高校を卒業し、みなそれぞれの道を歩いています。私の子育てもやっと一段落した今日このごろです。

一昨年、小学校へ農業についての授業に参加させてもらいましたが、水を田に引くまでの先人たちの苦勞・努力や工夫により今があるということを感じ、その施設を維持管理し後世に伝えることが私達土地改良区の仕事だと思えました。未来ある子供達の食の安全・安心を守るためにも、きれいな水の供給など土地改良区の役割の大切さを感じています。

これからも人との出会いを大切にして日々精進していきます。



なかいち「伝統野菜に親しむ会」の開催



「水土里の野菜倶楽部」及び「サロン ナカイチ」主催の、なかいち「伝統野菜に親しむ会」が3月3日に開催された。野菜倶楽部では、仁井田大根を含む秋田管内の伝統野菜【さしびろ・青菜】の復活・再生を目指しており、このイベントでは「仁井田大根の漬物」、秋田の伝統食「納豆汁」、無農薬栽培のお米の「塩おにぎり」「甘酒」等

の「昔風の昼食」を、ワンコインでふるまった。昼食会には予想を上回る、一般市民の方々約50名と野菜倶楽部関係者20名が参加した。

アツアツの「納豆汁」と漬物があれば、おにぎりは何個でもいけるという参加者もいたほか、「クリーム・チーズ」はがっこと相性バツグンで、今後の定番メニューの一つとなり得る感触を得た。

会場では、併せて仁井田大根の漬物の即売会や、「農の生け花」ミニ体験も実施された。

参加者からは、定期的な開店やH29年度の作付け計画、干し大根の入手方法、及び伝統野菜をモチーフとした「都市型農家レストラン」の展開に関する話題等で大いに盛り上がった。「がっこと」「お茶っこ」の底力に感服する一日でもあった。

今年で、「Akita 活力人ちいき応援事業」は卒業し、来年は「水土里の野菜倶楽部」単独での運営になるが、引き続き、地域の伝統野菜(仁井田大根・さしびろ・青菜)の復活、特産化及び地域内児童の農作業体験の実施を中心とした活動を予定している。

第17回

美しく豊かな農村づくり 写真コンクール

2月9日、写真コンクールの審査委員会が行われ、入賞作品が16点が決定しました。入賞作品につきましては、本会HP特設サイトにてご紹介します。

講評紹介

高貝審査委員長「“秋田の農業農村”というテーマでは、失われつつある農村の風景か、はたまた農村で元気に走り回る子どもの姿なのか…好みも分かれると思うので審査が難しいが、今回はテーマに沿った作品が多く寄せられたのではないか」

水戸審査員「農村での子どもやお年寄りの姿は沢山見られるが、青年の姿がないのは寂しい。農家で働く若者の姿なども見られたら」



秋田の農業農村部門

ベストあきた賞

「僕たちもお手伝い」
渡邊次夫 (撮影場所: 秋田市河辺)



日本の農業農村部門

日本NN賞

「朝の棚田」
阿部紀秋 (撮影場所: 山形県朝日町)

※当初「あきたに来てけれ賞」としておりましたが、名称を変更致しました。

イベント告知

水土里のゴミゼロDAY

5月30日は水土里ネットゴミゼロDAY
全県一斉に農業水利施設内を巡回点検
平成29年度も実施いたします。
詳細は4月号でお知らせします。



水土里レポートによる写真投稿 vol.8

「自然な癒し空間」

水土里レポート：
能代南土地改良区 飯坂辰斗



日本海から吹き付ける潮風や砂から能代の街を守っている「風の松原」日本の5大松原の一つでもある風の松原は、市民の憩いの場としても活躍しています。

今の時期は、少し肌寒いですが、吹き抜ける風は心地よく、清々しい空気を体中で感じるができます。

あなたもぜひ訪れてみては！?

リレー vol.8 感想文



毎号楽しく読ませていただいております。編集される方々のご苦労がうかがえます。いつもありがとうございます。

秋田市上北手小山田土地改良区：

榎勝子より

会員、たより

新理事長就任のお知らせ

次の方が新たに理事長に就任されました。
○大仙市神宮寺松倉土地改良区(H28.12.14)
理事長 石山 金悦

連 合 会 日 誌

3月1日	平成28年度臨時理事会	本会第1会議室
3月6日	全国土地改良事業団体連合会理事会	東京都
3月8日	平成28年度雄物・米代川地域広域基盤確立推進協議会総会	秋田市
3月15日	平成28年度技術実践向上研修(技術力向上事業)	秋田市
3月22日	水土里ネット秋田 秋田支部通常総会	秋田市
3月23日	平成28年度秋田県耕作放棄地対策協議会通常総会(第2回)	本会第1会議室
3月23日	秋田県農業水利施設活用小水力等発電推進協議会総会	本会第1会議室
3月24日	全国土地改良事業団体連合会第59回通常総会	東京都
3月24日	全国水土里ネット表彰式	東京都

編集後記

これまで「あきたのとちかいりょう」に記事は書いていたのですが、今回初めて編集を行うことになりました。書き物の編集は高校の時に新聞を作っていたので、慣れない事なので本当にあたふたとしています。自分の“くりえいていぶて”の無さに打ち拉がれているところで、改めて同僚T嬢の仕事にしみじみ有り難みを感じています。もっとも、「三歩歩けば忘れる」酉年の生まれなので、発行してしまえば苦労をクワッと忘れてしまいそう、というのはここだけの話ということで。(事業調整センター◆加藤)

